



2017～2018年度国際ロータリーのテーマ

●会長 白木 誠一

●幹事 古田 哲朗

ロータリー：変化をもたらす

No.1578 平成29年08月02日 第5回例会

ロータリー：
変化をもたらす※例会日 毎週水曜日 12:30～ <http://www.serc2720.org> email:serc@serc2720.org

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

■点鐘

■四つのテスト唱和

■8月の歌「みかんの花咲く丘」

(ソングリーダー 鷺山法雲)

■来訪者紹介

(会長 白木 誠一)

米山奨学生 翁 力棟 君

■今月の誕生祝い

堀内健太郎 S46.8.2

松岡泰光 S43.8.21



■ロータリー米山奨学金の授与

米山奨学生 翁 力棟 君

■黙祷

(故山崎勝パストガバナーを偲んで)

■会長の時間 (会長 白木 誠一)



7月27日に熊本は梅雨明け宣言をしましたが、毎日暑い日が続いています。

新年度に入りまた不幸がありまして、私たちおの親クラブであります東クラブの09-10年度のがバナーでありました山崎 勝会員が7月29日に逝去されました。(享年79歳) 山崎会員は1976年11/1に入会し40年に渡ってRCの活動をされました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

8月は陰暦では葉月と申します。

二十四節気は中国の戦国時代の頃、季節を春夏秋冬の4等区分に

するために考案された区分手法の1つで、一年を12の「中気」と12の「節気」(正節とも)に分類し、それらに季節を表す名前がつけられている。重要な中気である夏至・冬至の二至、春分・秋分の二分は併せて二至二分(にしにぶん)と言い、重要な節気である立春・立夏・立秋・立冬を四立(しりゅう)、二至二分と四立を併せて八節(はっせつ)という。

新暦では九月月上旬から十月月上旬の秋にあたるため、この時期は葉の落ちる月で「葉落ち月」が転じて「葉月」になったとする説。また稲の穂が張る月「穂張り月」や「張り月」から、「葉月」になったとする説があります。

暦についてですが、世界の主流となった暦は、ユリウス暦、グレゴリオ暦、月の周期を基準とした太陰暦、太陽の周りを地球が一周する期間の太陽暦、西暦、などです。

ユリウス暦は紀元前45年から太陽暦としてはじまったのです。ところが後に128年に1日1500年に11日の誤差が生じることが解り実際との差が無視できないものになり、そこで、1582年、時のローマ教皇グレゴリウス13世は、1年間を365.2425日と計算するグレゴリオ暦を採用しました。現在世界標準の普段使用している暦は、1982年に制定されたグレゴリオ暦と呼ばれるものです。なお、日本でグレゴリオ暦が採用されたのは1872年からのことです

1年は365日である事が多いですが、4年に1度はうるう年のため366日になります。これは、1年の長さが1日の長さでは割り切ることが出来ないためです。1年は365日ぴったりではなく、365日と5時間49分ほどとされており、常に365日であった場合には、暦と季節がずれてしまうということが発生してしまいます。100年間、常に365日であった場合には、24.22日分はずれが生じると言われています。

うるう年は、このずれを防ぐために設けられています。うるう年の決め方は西暦年が4で割り切れる年、西暦年が4で割り切れる年でも100で割り切れる事が出来る年は平年ですが、400で割り切れる年はうるう年となります。

■幹事報告 (幹事 古田 哲朗)



1) 地区表彰委員会より、2017-18年度地区表彰基準の案内。

2) 熊本平成RCより、第1回熊本市域RC会長・幹事会議事録の送付。

3)

高山泰四郎 ガバナーエレクトより、地区委員会 委員長・委員 推薦のお願い（9月25日までに回答）。

4)

慈愛園子供ホームより、8月3日サマーキャンプについて連絡（午後のパン作りが13:30から始まって、2時間15分かかるといことで、終了時間が15時ではなく16時前になります）。

5)

熊本県青少年育成県民会議会長より、熊本県青少年育成県民会議における賛助会員の募集。

開催日	行事名	場所	会場	出席者
2017年 8月3日(木)	慈愛園サマーキャンプ	熊本県阿蘇郡西原村	阿蘇ミルク牧場	白木誠一、永野昭一、福井学、村瀬直久、宮川義行、中島祐爾、小畑成司、内田信行、横山佳之、西村陽介、西村夏鈴、西村風花、東田真美、河上勝平
8月26日(土)	「ロータリー米山記念奨学会財団設立50周年記念」世界米山学友による 感謝in熊本	熊本県熊本市	ANAクラウンプラザホテル熊本 ニュースカイ	山田公也、宮川義行、小畑成司、小松野正彦、翁力様
9月2日(土)	管理運営・公共イメージ・会員増強セミナー	大分県大分市	ホルトホール大分	(案内中)
9月2日(土)	伝承遊びの集い	熊本県熊本市	赤アエ牧区公民館	(案内中)
9月7日(木)	ガバナー公式訪問(4RC合同)	熊本県熊本市	熊本ホテルキャッスル	(案内中)
9月16日(土)	ロータリー財団部門・米山記念奨学会部門合同セミナー	熊本県宇城市	小川総合文化センター ラポート	(案内中)
9月9日(土)・10日(日)	RYLAセミナー	熊本県阿蘇市	阿蘇YMCA	(案内中)

ロータリーの友紹介

(会報・雑誌担当委員 村瀬直久)

「ロータリーの友8月号」

委員会報告

(IT同好会 永野昭一)

IT 勉強会再開のご案内

平成 29年 8月 23日(水) 14:00～16:00

月 1回から 2回開催 12月までの予定

場所 ホテル日航熊本 裏のビル

費用 500円/回 都度徴収

内容 スマホ、タブレットの使い方

委員会報告

(クラブ管理運営委員長 内田信行)

日帰り親睦家族例会の件

日時 平成 29年 8月 26日(土) 6:40 熊本駅集合

参加費 大人 10,000円程度

出席報告

(出席・プログラム担当委員 河岸 彦治)



月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率 (%)
07月 19日	39 (免0) 39	35	2	37	94.87
08月 02日	40 (免1) 39	28			71.79

新入会

07月 26日 堀内 健太郎

出席免除

08月 02日 住江 正治

欠席者(2名)

07月 19日 内田 敏視 岡本千代門

今度の 100% 出席の日は 08月 30日です。

スマイル

(親睦・スマイル担当委員 権山 佳之)



◎宮川 義行 5,000円

昨夜はロータリーアクトの例会に参加しました。平山君、東田君、河上君の3名でしたが、日光東照宮の霊獣トラ、ウサギ、リュウが有名だけど、それは徳川三代の干支だとか、歴史も詳しく調べ発表していました。明日の慈愛園サマーキャンプもアクトで参加するそうで、少ない中でも頑張っています。メンバーが少しでも増えてくれる事を祈っています。本日は鷲山先生が「四つのテスト」の唱歌をして下さいます。ありがとうございます。できれば毎月第1例会に出席して頂いて歌唱をお願いします。

◎松岡 泰光 5,000円

今月21日で49歳になります。40代最後の年をロータリアンとして過ごせることが嬉しいです。ゴルフコースデビュー目指して頑張ります。

◎小松野正彦 5,000円

久しぶりのホームクラブ出席です。

◎堀内健太郎 5,000円

誕生祝いありがとうございました。本日、46回目の誕生日を迎えることができました。沢山の「おめでとう」をもらえる様に出会いに感謝し努力していきます。

■委員会卓話（新年度方針）

（会員増強担当委員／長期戦略委員長 松本繁）



会員増強

（会員増強 / ロータリー情報）

会員増強委員長 白石 繁

委員（会員増強担当）松本 繁（ロータリー情報担当）鈴木義親
古庄浩二佐野茂

1. 活動方針

「Joyful(楽しい) and Good(良い)・・・Best Club(ベストクラブ)」
を目指し仲間を増やそう。

今年度会員数 40 名を達成（純増 3 名）

2. 実施計画

(1) 会員増強プロジェクトチーム 5 班編成

- ・各班最低 1 名の増強必達
- ・毎月第 1 週例会にて各班長経過報告
- ・最多会員増強班を年度末に特別表彰する

(2) 退会者を出さない雰囲気づくりを行う。

(3) 職業分類表の見直しをする。

長期戦略

長期戦略委員長 松本 繁

委員 永野昭一 白木誠一 白石繁 内田信行

1. 活動方針

私たち熊本東南ロータリークラブは、

「Joyful(楽しい) and Good(良い)・・・Best Club(ベストクラブ)」
を目指します。

- ・社会に奉仕する同志として、知・徳などの研鑽に励みます。
- ・私たちは親睦と奉仕に対して真摯に取り組み、クラブの質の向上を目指します。
- ・会員が集い、語り、互いに学び合うことで、より心豊かな人生を送ります。
- ・ロータリアンであることに誇りと、喜びを感じます。

2. 実施計画

・2017 年 9 月末までに中期 3 ヶ年（2017 年 7 月～2020 年 9 月）
計画書（案）を策定する。

・2017 年 7 月から 8 月にかけて、クラブ協議会及びクラブフォー
ラムにおいてクラブ会員の意見を聴取する。

・2017 年 9 月に、聴取した内容を加味し事業計画（案）のブラッ
シュアップを図る。

・年間を通じ、計画書に沿って実行されているかチェックする。
また、必要に応じて修正を加える。

・熊本東南ロータリークラブの歌を作る。（今年度中）

2017～2018 年度会員増強プロジェクトチーム

☆印は各班のリーダー

A 班	B 班	C 班
☆古庄浩二	☆内田敏視	☆松本 繁
古田哲朗	河岸彦治	小松野正彦
松本一也	前田日出夫	村瀬直久
永野昭一	中島祐爾	西村陽介
住江正治	佐野 茂	鈴木義親
坂梨友一	島村徹男	白木誠一
堤 勝也	内田信行	鷲山法雲
緒方公一	草村安宏	山坂哲生

D 班	E 班
☆山田公也	☆福井学
益田敬二郎	前田昭博
宮川義行	岡本千代門
沼田敏雄	小畑成司
潮谷愛一	白石繁
志賀重人	山本浩之
吉田嘉昭	横山佳之
堀内健太郎	松岡泰光

*各班必達目標 2017 年 8 月 2 日～2018 年 5 月末
1 名×5 班 計 5 名

◎毎月第一例会にて、グラフにより前月の会員増強実績報告
および各班から会員増強活動報告

◎会員増強 1 名達成した班に優秀賞を贈呈

◎最多会員増強をした班に最優秀賞を贈呈



ムンバイで人生を変えたロータリー体験

サイーフ・クレイシさんとロータリーとのかかわりが始まったのは40年前のこと。通っていたムンバイの学校でインターアクトクラブの会長を務めた時でした。

その2年後、クレイシさんはロータリー青少年交換留学生として米国で1年間を過ごしました。

3年前、クレイシさんと夫人のローザットさんは、アーチ・クランフ・ソサエティ（AKS）のメンバーとして迎え入れられました。ロータリー財団へ累積25万ドル以上を寄付した人に与えられる、最高に栄えある認証です。

クレイシさんは、クリフス・パワー・コンポーネンツ社の設立者・CEOであり、クリフス慈善財団を設立し理事を務めています。ローザットさんは鍼師です。



インターアクターとして40年前からロータリーとかかわるサイーフ・クレイシさん。ローザット夫人とともに最近アーチ・クランフ・ソサエティに迎え入れられました。

ロータリー財団創立100周年となる2017年、財団管理委員会は100名の新たなAKSメンバーを迎えることを目標としています。そんな中、インターアクト時代を含めて40年以上ロータリーとかかわり、今ではご夫妻でアーチ・クランフ・ソサエティのメンバーになったクレイシさんに、「与えること」によって得られる充実感について語っていただきました。

Q: 1981年にロータリー青少年交換留学生として渡米されましたが、この経験はその後の人生にどのような影響を与えましたか？

A: 17歳での長期交換留学は、私にとってまさに人生を一変する体験となりました。当時ボンベイと呼ばれていた人口1200万人の都市から来た私は、留学先がペンシルバニア州のトワンダという小さな町だったので、すぐにでも帰りたくなりました。そこで父が、まず1カ月辛抱してから決めなさいと言ってください。気がつけば、私は辛抱するどころか、学校でも地域社会でも大いに活躍していました。1982年にインドへ帰国する頃には、恥ずかしがり屋で内気なティーンエイジャーだった私は、自信に満ちた青年へと生まれ変わっていたのです。

Q: あなたにとって寄付とはどんな意義があるのか、お聞かせいただけますか。

A: 私が寄付をするのは、誰かを助けるためや、よいことするためという崇高な理由だけではありません。寄付によって私の人生にも活力がもらえるからです。私たちはみな、生活の中でほとんどの事柄を「これは私にとってどんな得があるのか」という視点から見る癖がついています。情けは人のためならず、巡り巡って己のためになる、ということに気づけば、寄付も習慣化して自然とできるようになります。

私が寄付をするのは、誰かを助けるためや、よいことするためという崇高な理由だけではありません。寄付によって私の人生にも活力がもらえるからです

サイーフ・クレイシ

ムンバイのクリフス・パワー・コンポーネンツ社CEO、アーチ・クランフ・ソサエティメンバー

Q: ご寄付は、どのようなプロジェクトに活かされましたか？

A: センス・インターナショナルという国際NGOと連携して、聴覚や視覚に障害のある子どものためのセンターに資金を提供しました。ムンバイ郊外にある身体障害者の学校用にバスを購入し、教育設備を整えました。経済的に恵まれない人びとのための眼科病院に現代的な設備を提供しました。さらに、先天性欠損症の乳幼児の命を救うため、120件ほどの小児心臓外科手術の資金も集めました。

Q: ほかに人には、何と言ってロータリーへの入会を勧めますか？

A: ロータリーによって人生が変わったという会員が数多くいます。共感と理解の心が育まれ、人として成長できるだけでなく、社会のさまざまな立場にいる人と出会う機会に恵まれます。また、私たちのプロジェクトに触れることで人生が変わった人も大勢います。ロータリー会員ではない友人も多くいますが、ロータリーで出会って友人になった人たちは皆、「世界でよいことをしよう」という共通の目標を分かち合っています。これが強い絆を生んでいます。

Q: ロータリアンに伝えたいアドバイスは？

A: 寄付を習慣とすることです。私もそうでしたが、まずは少額から始めましょう。ただし、定期的に寄付することが大切です。子どもたちにも寄付を習慣として身につけてもらい、寄付の力を実感してもらうこと。我が家の2人娘は私や妻よりもはるかに物欲がなく、とても誇りに思っています。

- ポール・イーグルマン